

南中だより

学校通信 第6号
令和3年11月15日

校訓:「自己を高めよう」

本校のめざす生徒像

「将来を見据え、今の自分を作り上げていく生徒」

1. 真剣に学び合う生徒
2. けじめのある行動をする生徒
3. 自ら心と体を鍛える生徒

◇修学旅行に行ってきました！！ 10月28日～30日

これ以上の晴天は望めないというくらい天気に恵まれ、2泊3日の修学旅行を実施することができました。

新型コロナウイルス感染症のため、昨年のスキー合宿を泣く泣くあきらめ、さらには5月に予定していた修学旅行が延期となり、9月の感染の急拡大からは実施に暗雲が立ちこめました。しかし、ふたを開けてみればけがや病気もほとんどないまま、全行程を無事に終了しました。

1日目は富士サファリパーク、2日目は富士急ハイランド、3日目は自然体験活動で旅行を満喫しました。また、同じ民宿に2連泊ということもあり、宿の方々との交流を深めるとともに、学級の仲間との楽しい思い出をしっかりと作ることができました。

決して投げやりにならず、この旅行に向けて気持ちを高め続けた3年生は立派でした。また、お子さんを支え続けてくださった保護者の皆様には、あらためて感謝申し上げます。



富士山を背景に記念写真

◇学年別体育競技大会・南中祭

11月4日には学年別体育競技大会を、翌5日には南中祭を開催しました。例年であれば9月に体育大会と応援合戦、11月に南中祭・合唱コンクールを実施するところですが、コロナ対策のため変則的な開催となりました。練習時間、準備にかける時間も限られる中、精一杯に活動する南中生の姿を見てうれしくなりました。

南中の伝統と文化がしっかりと根付き、引き継がれたことが実感できる、充実した二日間でした。



南中祭を振り返って 生徒会長 外山裕菜
コロナ禍での南中祭でしたが、みなさんの頑張りが協力、そして先生方のサポートのおかげ素晴らしい南中祭になったと思います。学年別の競技会やオンラインでの演出など、今年も感染対策を考慮したものになりましたが、二日間を通して、協力することや一人一人の行動に意味があることをもう一度学ぶことができたと思います。そして、南中生全員が「勇敢」な人になれるように生徒会がんばっていきたいと思います。
本当にありがとうございました。

応援合戦優勝 3の3 応援団長 石原怜采
例年よりも短い期間の練習だった分、不安でキツイ時もあったと思いますが、誰一人として投げやりにならず、お互いに教え合いながら取り組むことができました。休憩の時間でも自主的に練習し、ザワザワしていても音楽が鳴り出したら一斉に踊り出す姿は、本当にかっこよかったです。結果発表をされて、皆で立ち上がって思いきり喜んだのは忘れられない思い出になりました。私はこのクラス、3組のみんなと最後の応援ができてよかったと思っています。残り5か月、このクラスで最後まで駆け抜けていきます。

◇南中トピックス



天野浩教授 講演会



南中支援者交流会

市制50周年を記念してノーベル賞受賞者である天野浩教授の講演会が開催されました。11月9日の当日は、2年生がZOOMを利用して参加しました。

11月12日、様々な面で南中を支えてくださっている11団体、20名の方々をお招きし、交流会を開催しました。参加者の交流が進み、実りの多い会となりました。